

第1問題

問1	ア	ほぐし (2点)	イ	動き (2点)				
問2	ウ	C (1点)	エ	I (1点)	オ	B (1点)	カ	E (1点)

第2問題

問1	抜き脚側の腕を大きく横に振り、抜き脚をかかえ込んでくるように引くと、抜き脚との動きのバランスがうまくとれるようになる。 (3点)					
問2	スタートしたらすぐには顔を上げずに加速し、徐々に上体を起こしていく。					
	踏み切りでブレーキをかけないためにできるだけ遠くから踏み切る。 (各3点)(順不同)					
問3	A	D	F	I	J	(各1点)(順不同)

第3問題

問1	C (1点)					
問2	ア	倒立 (1点)	イ	体重 (1点)	ウ	$\frac{1}{4}$ (1点)
問3	2, 3枚重ねたマットの上で落差を利用してスムーズに立つ。 (3点)					

第4問題

問1	片手にビート板を持って、同じ腕で連続してストロークを行う。それから、ビート板を途中で持ち替えて、反対の腕でもストロークを行う。 (3点)					
問2	二人組になり、片手を支えてもらって練習する。顔を上げるときに顎が上がらないようにする。また、足が下がらないように注意する。 (3点)					

第5問題

問1	ア	J. ネイスミス (2点)	イ	大森兵蔵 (2点)	ウ	ベルリン (2点)
問2	(1)	B (1点)	(2)	A (1点)	(3)	C (1点)
問3	A		D		F	
(各1点) (順不同)						
問4	<p>シングルスでは、ショットを打った後の相手のリターンに対してコートを一人でカバーしなければならないので、オープンなスペースがしやすい。一方で、ダブルスでは、コートを二人でカバーすることができるので、オープンなスペースはできにくい。</p>					
(6点)						
問5	<p>もとの形に戻る</p> <p>① Aがサーブ2回 Xがレシーブ</p> <p>② Xがサーブ2回 Bがレシーブ</p> <p>③ Bがサーブ2回 Yがレシーブ</p> <p>④ Yがサーブ2回 Aがレシーブ</p> <p>(②～④各3点)</p>					
問6	<p>ラケットを後ろから前ではなく、下から斜め上方へスイングして、ボールに上回転をかけることを心がける。</p>					
(3点)						

第6問題

問1	体さぼき (2点)
問2	見取り稽古 (2点)

第7問題

問1	ア	現代的なリズムのダンス (2点)	イ	創作ダンス (2点)
	ウ	フォークダンス (2点)		
問2	E (2点)			

第8問題

問1	A (2点)
問2	<p>便利な生活が運動不足や精神的ストレスをもたらす一方で、生活のなかでの労働時間が着実に減り自由時間の増大をもたらされた。このような多くの自由時間を活用して、人々が豊かな生活の質を積極的に求めていく社会をレジャー社会と呼ぶ。</p> <p style="text-align: right;">(3点)</p>

第9問題

問1	C (1点)					
問2	B (1点)					
問3	A (1点)					
問4	E (1点)					
問5	重症化した病気から社会復帰するための治療やリハビリテーションをすること。 (3点)					
問6	がん患者やその家族一人ひとりの体や心などのさまざまなつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくこと。 (3点)					
問7	ア	回復期 (2点)	イ	未治療期間 (2点)	ウ	前駆期 (2点)
	エ	病前期 (2点)				